

令和5年度国有林モニター会議を開催

～芦北地区の民有林直轄治山事業を視察～

日時 : 令和5年11月4日(土) 8時50分～16時40分
場所 : 熊本県葦北郡芦北町
参加者 : 国有林モニター、九州森林管理局 企画調整課、治山課
内容 : 芦北地区特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業の視察
(令和2年7月豪雨で被害を受けた芦北地区の復旧状況等の視察)

国有林モニター会議を開催し、九州各県の11名の国有林モニターにご参加いただきました。国有林モニター会議は国有林モニターの皆様との現地視察や意見交換を通じて、国有林の管理経営についてご理解いただくとともに、国有林をより身近な存在として認識していただくことを目的として、平成16年度より開催しているものです。コロナ禍により国有林モニター会議は中止やWeb会議による意見交換に留まっていたため、現地視察の国有林モニター会議は平成30年度以来の開催となりました。

今年の国有林モニター会議は芦北地区の民有林直轄治山施設を視察していただきました。芦北地区は令和2年7月豪雨による山腹崩壊等の大規模被害を受け、熊本県からの要請によって九州森林管理局が県の代行事業として令和2年9月1日から令和5年9月29日の期間、復旧事業を実施しました。36箇所 of 復旧事業箇所の内、3箇所を視察現場として回りました。



視察先 被災時写真(令和2年7月撮影)



視察先 復旧事業完了後写真(令和5年9月撮影)

視察現場では治山課 松永災害対策専門官から災害直後の状況や、復旧事業についての説明があり、国有林モニターの皆様は治山施設を間近にご覧頂きました。

視察現場では

- ・ 災害のあった箇所は保安林なのか。
- ・ 現場は民有林ということだが、土地を買い取って工事したのか。
- ・ 復旧事業完了後、植樹をしているのか。
- ・ シカネットを設置していない箇所もあるが、何故か。
- ・ 崖のような場所での治山工事では、工事中にさらに土砂が流れたりしなかったのか。

等のたくさんの質問が飛び交いました。

モニター会議後のアンケートでは

- ・ 現場を見ることで被害の大きさやその場所の対処方法についてよくわかった。
- ・ 民有地であっても大規模な災害に際しては国による災害復旧事業として行われることを知ることができた。
- ・ 復旧事業後、森に戻った場所もあるのか。あれば見てみたかった。
- ・ 視察先の3箇所がすべて同じような民有林だったため、国有林内での他の事業も視察したかった。

等の感想や意見を頂きました。



治山施設の前で説明する災害対策専門官と説明を聞くモニターの方々

国有林モニター会議やアンケートでは普段、職員の視点からでは気づくことが出来ない点の質問・意見も多くあり、国有林モニターの皆様から頂いた貴重なご意見・ご感想は今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。モニターの皆様におかれましては遠方よりご参加いただきありがとうございました。